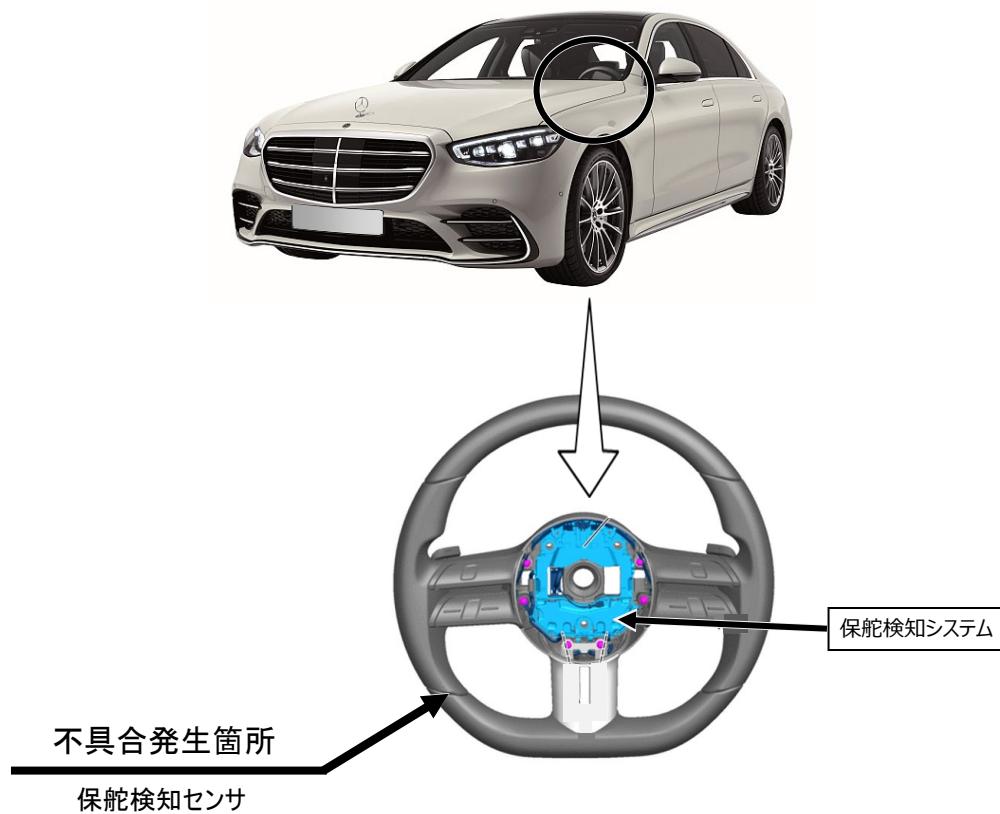


改善箇所説明図



注： は、対策プログラムに書き換える部位を示す。

ステアリングホイール内に装着されている保舵検知センサにおいて、ステアリングホイールの製造指示が不適切なため、両手がステアリングホイールから離れていることを検知できないことがある。そのため、運転者が認識されな
いまま、両手がステアリングホイールから一定時間以上離れても警告音が鳴らず、最悪の場合、運転者が意識を
失った場合において、自動で減速して、停止し、緊急通報を行う安全機能が働かないおそれがある。

改善の内容

全車両、保舵検知システムの制御プログラムを対策プログラムに書き換える。

識別：車台番号の付近に黄色の識別ペイントを塗布する